

[専門教育科目/公衆衛生看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公衆衛生看護管理論	NSP44_009	選択	2	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
伊丹 幸子 他	304	s.itami	月曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	保健師が公衆衛生看護の場で、地域住民の良好な健康と生活を確保するための実践活動である看護管理の活動について、人・物・予算・情報・組織等の管理・運営の仕組みを理解する。また、保健師の力量を高めるための自己研鑽・研究等の仕組みを理解する。さらに、公衆衛生看護管理の実際の事例から、公衆衛生看護管理の意義と機能について検討する。				
学習上の助言	公衆衛生看護学のまとめの科目です。今までに学んだ公衆衛生看護の各論について、復習して臨んでください。				
教科書	・公衆衛生看護学 第2版/編:上野昌江、和泉昌子/中央法規出版/2016				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・最新公衆衛生看護学 第3版 総論 各論1、各論2/編:宮崎美砂子、北山三津子/日本看護協会出版 ・保健師業務要覧:井伊久美子ほか編集/日本看護協会出版 ・厚生指針 増刊 国民衛生の動向 2020/2021/厚生労働統計協会 ・保健師と放射線/編:保健師の活動と放射線研究班/真興交易(株) 医書出版部/2018 				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	公衆衛生看護に求められる支援体制や管理の内容を説明できる		NS(1)~(5)		
②	保健師活動における管理的な機能が説明できる		NS(1)~(5)		
③	住民の健康維持増進、地域ケアの質の確保のための施策化について説明できる		NS(1)~(5)		
④	施策・事業を運営するために必要な予算管理・人事管理など、業務管理の必要性が理解できる		NS(1)~(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション	対面授業	今までに学んだ公衆衛生看護について復習する。教科書のP497~514を読む。		
2	公衆衛生看護管理の定義と特徴	演習			
3	わが国の保健医療福祉施策と保健師の役割と管理機能	対面授業	保健医療福祉の分野で看護職が働いているところを文献で調べ一覧表にする。		
4	保健医療福祉サービスの質を担保するための看護管理	演習			
5	地域ケア体制作りと保健師の管理機能	対面授業	在宅看護実習Iで体験した実習地の保健医療福祉の資源を整理する。		
6					
7	住民の健康づくり活動における保健師の管理機能(地域組織活動、ソーシャルキャピタルの醸成を含む)	対面授業	在宅看護実習Iで体験した介護予防活動について復習しておく。		
8					
9	地域住民への健康支援活動(家庭訪問から施策への展開、保健師活動の特徴)	対面授業	提示した事例を読んでおく。		
10					
11	わが国の健康危機管理体制における保健師の役割(災害時)	対面授業	国民衛生の動向にある健康危機管理体制を読んでおく。		
12					
13	わが国の健康危機管理体制における保健師の役割(感染症発生時)	対面授業	公衆衛生看護支援論で学習した感染症対応を振り返る。		
14					
15	公衆衛生看護管理の実際(市町村保健師の活動の実際)	対面授業	まとめ		
試	定期試験				

[専門教育科目/公衆衛生看護学]

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		60	30	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	20	10	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力		20	10	0	0	0	30
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験とする。保健師国家試験への出題問題も範囲とする。				メールで回答の解説を送付する
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
レポート	①	✓	公衆衛生看護管理について考察する。				レポートは後日コメントして返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①	✓	出席日数を総合的に評価する。				問題が生じた場合は、個別に面接を行う。
	②						
	③						
	④						
備 考							
<p>担当教員：◎伊丹 幸子、山崎 洋子</p> <p>教員の実務経験：担当教員は保健師として35年勤務し、県職保健師として保健所、市町村保健師業務を経験。</p> <p>実践的授業の内容：保健所・市町村における行政保健師活動の実務経験を元に内容を構築し、公衆衛生看護について理解を深める。教員の経験からさまざまな事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回対面授業に出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として理由のない欠席はしないよう心がけること。 ・学生の理解度に応じ、対面授業の速度や順番を調整する可能性がある。 ・大学から示されている感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 ・Teamsを使った同双方型授業も実施する可能性があるため、通信容量無制限のWifi環境を推奨する。 ・今後、新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバス内容が一部変更となる可能性がある。 <p>・本科目は、保健師課程選抜者のみ履修可能である。</p>							